

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 わくわく			
○保護者評価実施期間	2025年1月17日 ～ 2025年2月1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年1月17日 ～ 2025年2月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和2年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の取り組み	講師の方に来ていただき職員、保護者の方に研修を行う。新しい療育を行うために教材を作ったりする	アセスメントをして個々あった支援を行う。定期的にSST、ペアレントトレーニング等を行う
2	事業所が広く子供たちが療育、訓練、集団活動等をのびのび行うことができる。また法デイ、児発の事業を〃建物で行っているの、いろいろな年齢の子供たちが過ごすことができる	園庭で保管の事業所の子供尾たちと過ごす	地域の子供たちとも交流できる取組後行えたらいい
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関が「バリアフリー」になっていない	車いすを利用されている方もいるので大変である	段差のあると頃にスロープを付け、子供たちが安心して活動でき、職員も支援が楽にできるように行う
2			
3			